

	男女の賃金の差異 (男性の賃金に対する女性の賃金の割合)
正社員	84.6%
パート・有期職員	44.0%
全労働者	54.2%

☆ 正社員について

弊社の賃金格差約85%の数字は、経済協力開発機構OECD平均の88.4%に近い数字であり賃金格差が低いと分析。

尚、日本の平均は77.5%と、男女間の格差が大きい結果が出ている。

※ コンサルティング会社WTW、データマネジメントのゼブラル、投資ファンドのシンフォニー社が企業の有報を基に7月にまとめた共同調査によると日本の1998社の平均値で女性の賃金は男性の約67%の結果報告がある。

☆ パート・有期職員について

賃金格差約44%の数字は、格差が大あるが、女性の非正規労働者の大半は、清掃関連の仕事であり時給は最低賃金、労働時間も4時間以内の短時間労働であるため、このような結果となったので特に問題はないと分析する。

※ 男性の非正規労働者は、全員が最低賃金で雇用していない、労働時間もフルタイム労働者が多いため格差が開いたと考える